

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

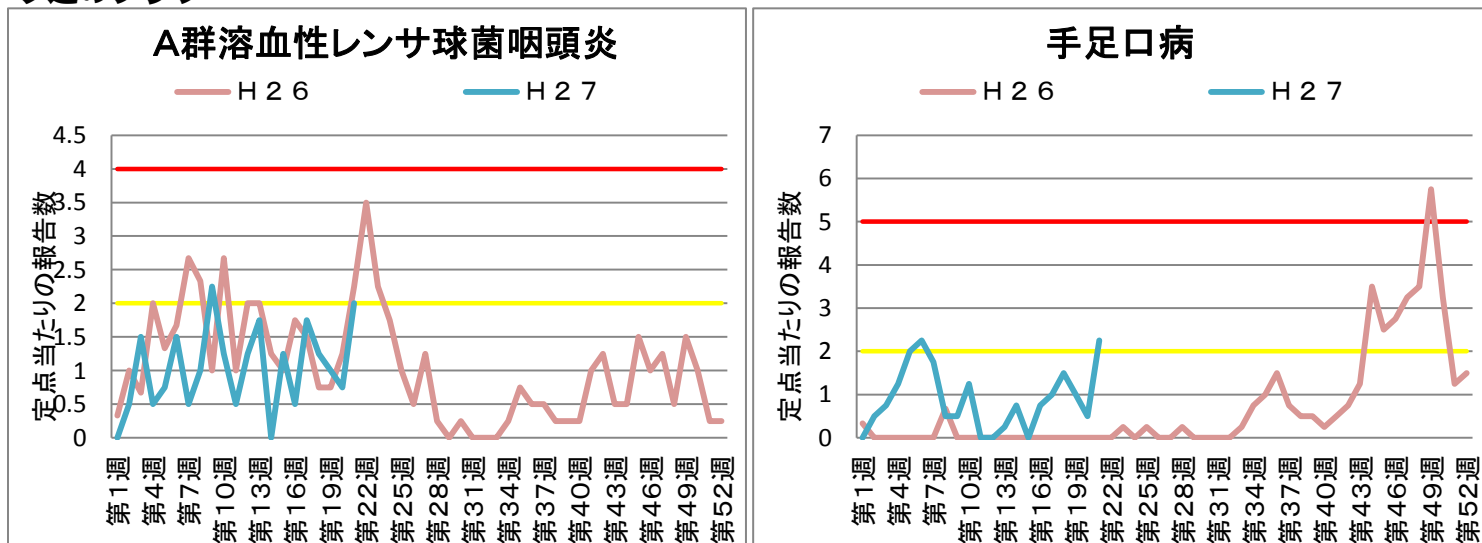
## (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 21 週 平成27年5月18日 ～ 平成27年5月24日

### 今週のコメント

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病の報告が増加しています。全国的にも、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、伝染性紅斑の定点当たり報告数は、過去5年間発生動向総覧の同時期と比較してかなり多い状況となっています。うがい、手洗いを励行し、感染予防に努めましょう。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎では、2～5日の潜伏期間の後、突然38℃以上の発熱、咽頭発赤、莓状の舌などの症状が現れます。治療は抗生物質が有効です。腎炎などの合併症を防ぐため、症状が改善しても主治医に指示された期間、抗生物質を内服することが大切です。

### 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

### 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	手足口病	2.25
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	1
咽頭結膜熱	1	突発性発しん	1.5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	百日咳	-
感染性胃腸炎	6.5	ヘルパンギーナ	-
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

### 参考資料等

報告週対応表

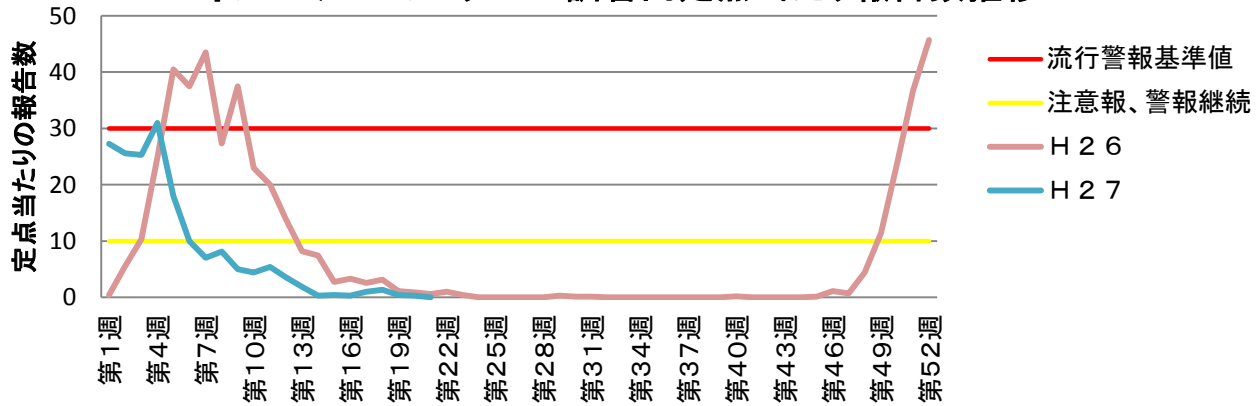
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

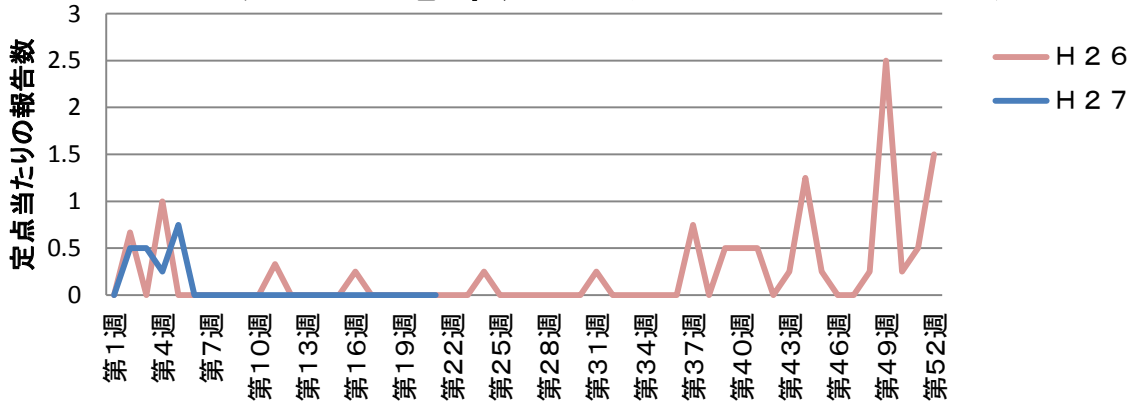
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

### 定点報告による各疾病の推移

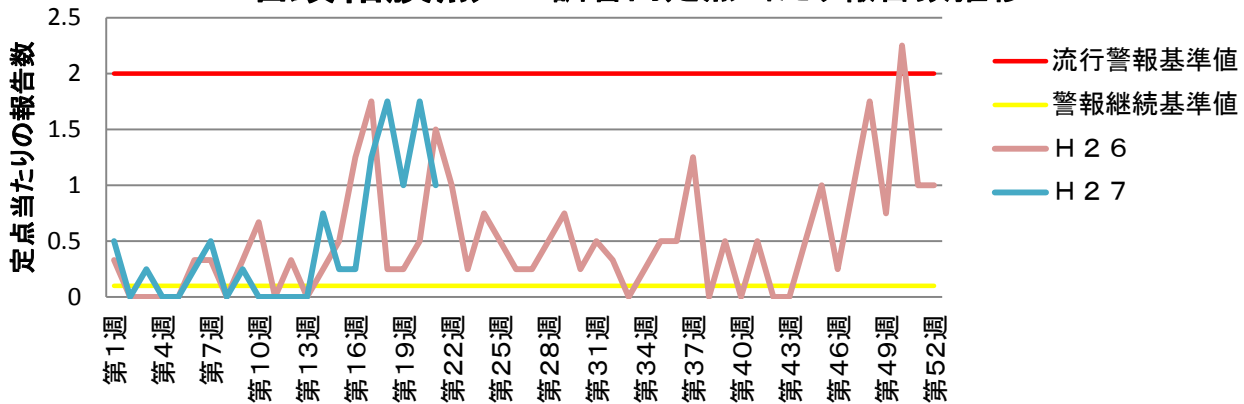
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



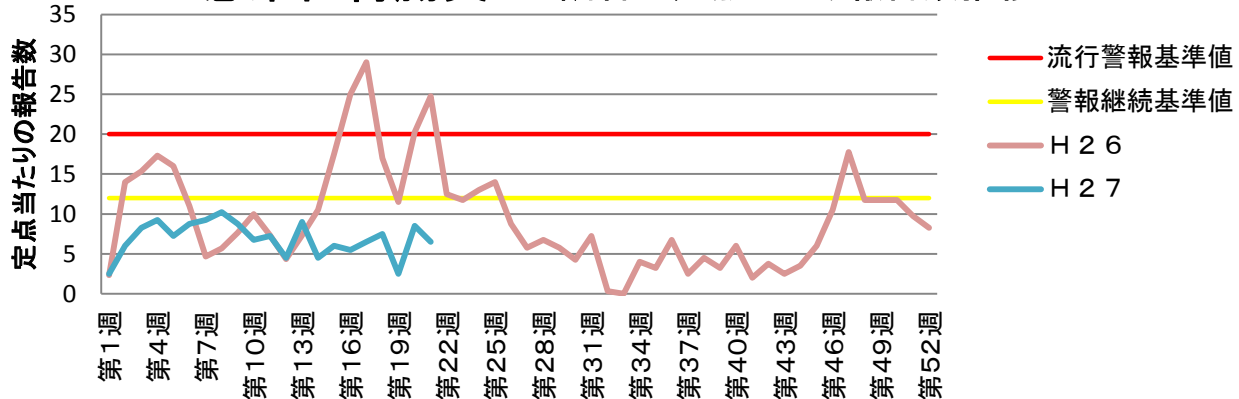
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



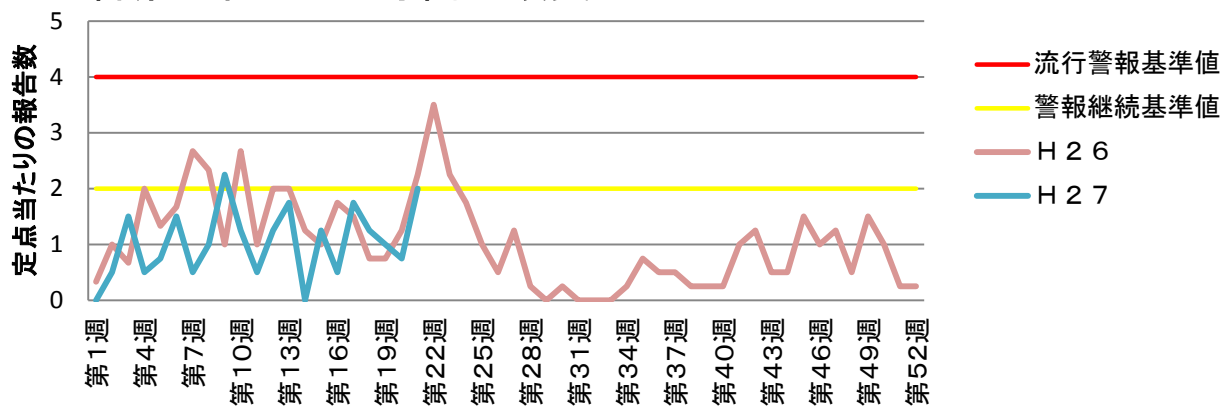
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



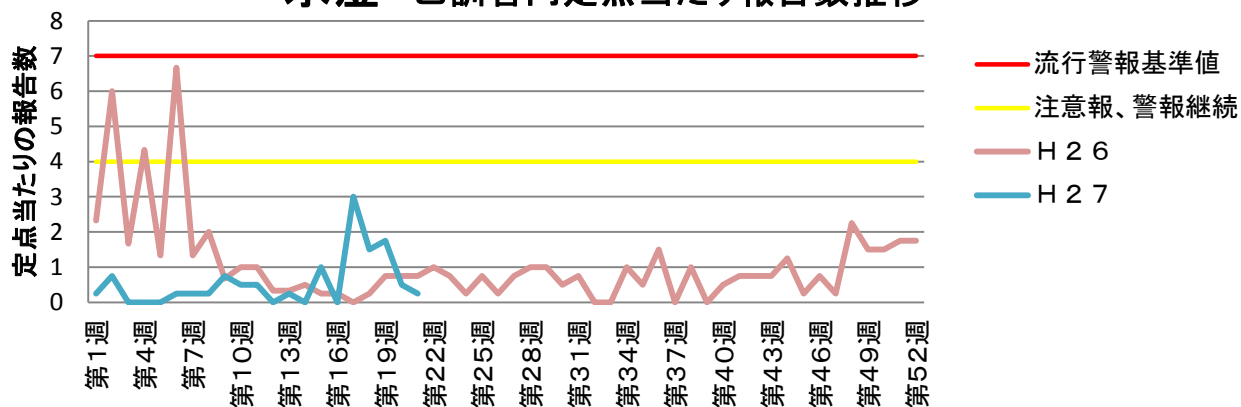
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



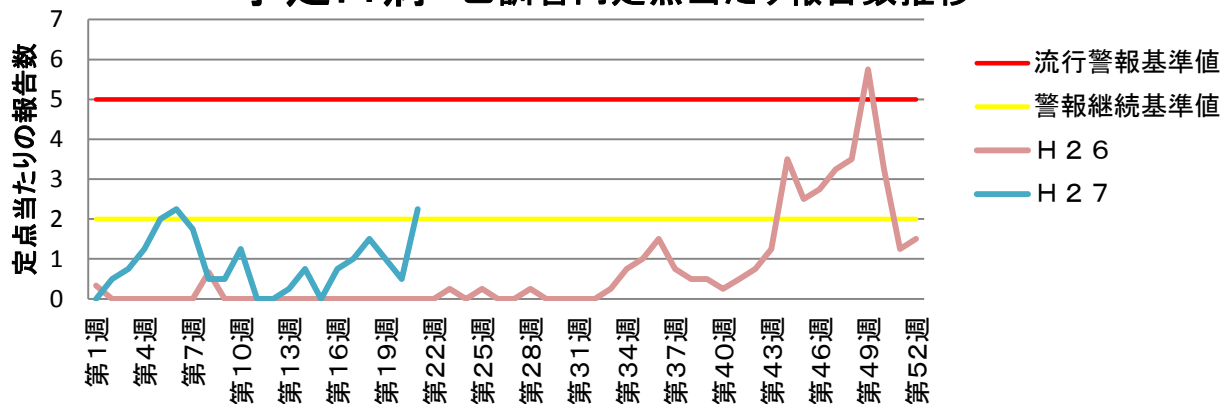
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



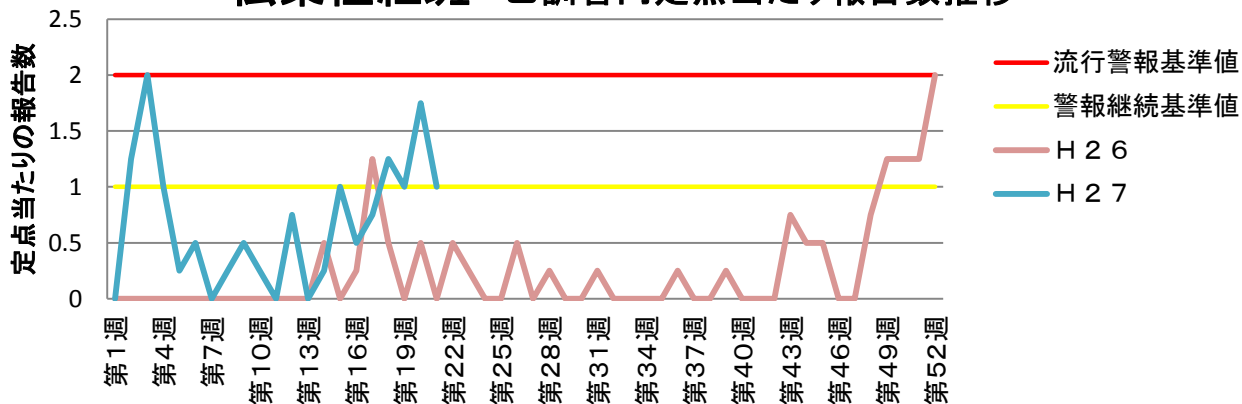
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



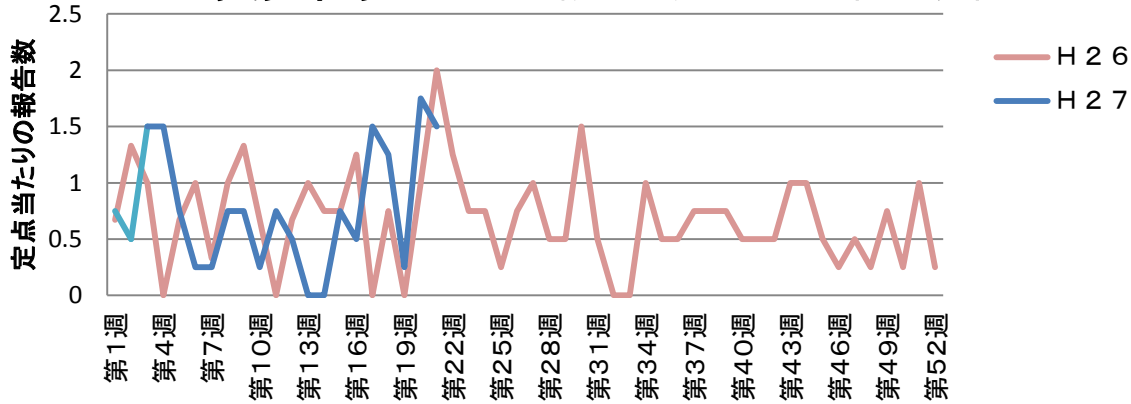
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



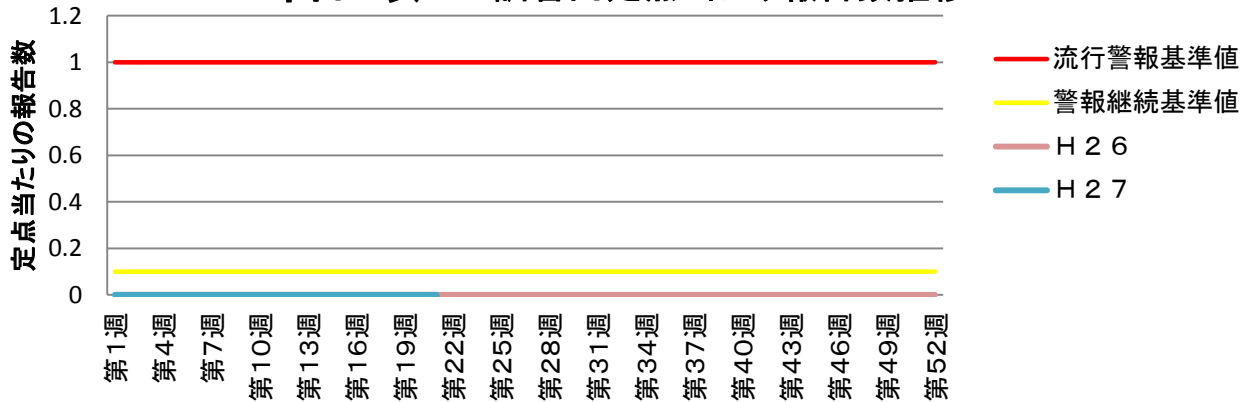
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



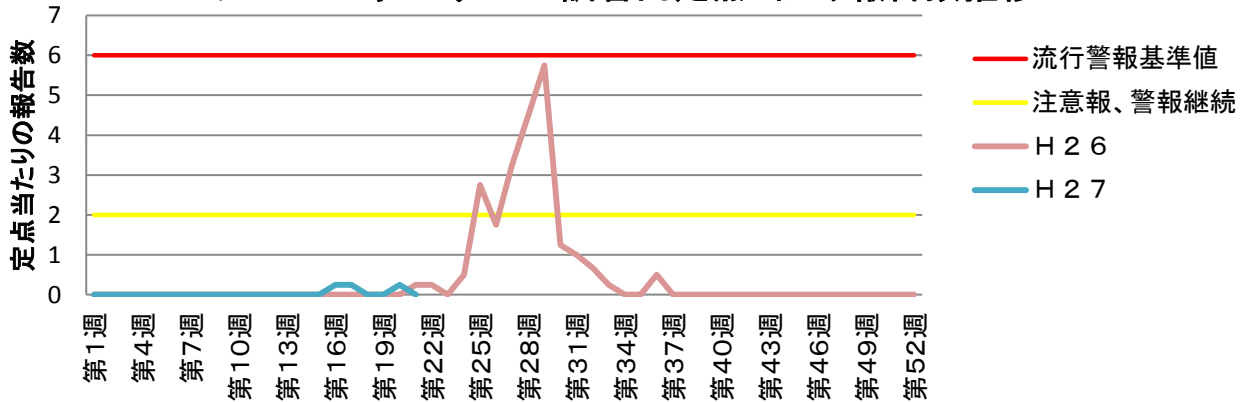
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

